

令和3年度第3回三郷町総合教育会議

令和4年2月18日

事務局 おはようございます。本日は大変お忙しい中、御出席を賜り誠にありがとうございます。
ます。

ただいまより令和3年度第3回三郷町総合教育会議を開催させていただきます。

なお、本日、芝崎委員が所用のため欠席となっておりますので、まずは御報告をさせていただきます。

また、併せまして、会議に際して傍聴の公募をさせていただきましたところ、本日、傍聴はございませんでしたので、その旨も御報告をさせていただきます。

あと、前回提案させていただきました議事録の公開につきまして、この、今日の会議から公開のほうをさせていただこうと思っておりますので、その旨も御報告させていただきます。よろしく願いいたします。

それでは、初めに、開会に当たりまして森町長より御挨拶を申し上げます。町長、よろしく願いします。

町長（森 宏範） 改めまして、皆さん、おはようございます。お忙しい中、また、コロナ禍の中、集まっていただきまして、本当にありがとうございます。

まずお話しさせていただきますのは、三郷町のコロナの状況でございます。今現在、今の感染者数は、昨日現在で805名でございました。そして、治られた方が410名、入院、宿泊、そして自宅療養中の方が389名おられまして、中等症の方が6名、軽症・無症状の方が383名、そして不幸にも亡くなられた方が6名ということで、現在の感染者数は389名となっております。

そして、1月末ぐらいから個別接種が、3回目の接種として進めてまいりました個別接種は1月の末から、そして集団接種のほうは2月に入ってからということで、かなり進んでまいったところでございます。

ここでやはり皆様の関心事は、子供たちに接種をすることについてだと思います。子供たちの接種ですが、5歳から11歳と決まっております。対象者は三郷で約1,300名、そしてそのうちの、これ、推計でしかないのですが、大体3割の方が、子供たちが打ってくれるのかなという想像で、約400人となります。どういうものを打つかと

言いますと、ファイザーです。今までファイザーは6バイアル、要は6人分を取っていたんですが、それを10人分に、結局量を少なくして打つということで決まっております。そして、2病院で個別接種、これは3月の12日から始まります。そして集団接種ですが、3月27日と4月17日という日程が決まっておりますが、場所については未定でございますので、決まり次第御報告をさせていただきたいなと思います。

この子供たちが打って本当にいいのかどうかという議論はありますけれども、やはり、それであってもやはり準備は整えておかなければならないということで、想定数を3割と決めさせていただきました。こういうことで御理解いただきたいなと思います。

話は全く変わりますが、昨日、奈良学園大学の跡地のことでFSS35（さんごう）キャンパスということで記者発表をさせていただきました。どういうことをするかと言いますと、「生涯活躍のまち」にするということは皆様にもこの前の会議でお話をさせていただいたとおりでございます。そして、描いているものは、大学のキャンパスから住民のキャンパスへと変貌をし、そして次世代型キャンパスをつくり上げていこうということですが、その中で三郷町の住民さんがどういうふうに関わっていただくか、また、どういうふうに活用していただくかということの中で、スポーツパークをそこにつくるというお話も以前にさせていただいたと思います。若干ですが、大体の素案が固まりつつあります。スポーツパークの中にはテニスコート、バスケットボールのコート、そしてBMX、スケボー、そして未確定ですがボルダリングをしたいなと、今そういうふうに思っております。

そこで財源のこととなります。来年度、令和4年度の事業的な部分につきましては、教育費。まず三郷町の予算総額ですが、95億8,000万、一般会計となります。そして、教育費ですが、過去に7%で教育費をくくっていた時代が長いことありました。私、就任する以前の話だったのですが、教育費を7%で限定するという。教育にもっともお金を突っ込んでもいいんじゃないかなという思いから、ずーっと、多いときでは、三郷中学校の建て替えのときですが、30%、全体の予算の30%まで引き上げたこともありました。教育にあつてはお金ではないよという思いから、何で7%やねんという、大分、当時山野教育長がおられましたので、そこで詰めてったわけですが、以前からこういう考え方で来たという、それは違うということで、そういうことでやってきていました。

しかしながら、ここ最近、若干そのパーセントが落ちてきています。令和3年度におきましては、教育費11%、令和4年度については10%になる予定でした。

そこで、この教育費について私もちっと見直したところ、このスポーツパークをまちづくりとして捉えましたので、教育費のほうに入っていないのですね。教育費として含めた場合は10%ではなくなるということで、若干増やすことができます。スポーツパークについては約1億円の予算を今つけているところでございます。こうやって、子供たちの教育も生涯教育もどっちも合わせて、やはりお金ではないというところで皆様の御理解をいただきたいと。そしてまた御協力もいただきたいなと思います。

今日は特に令和4年度の予算についていろいろと説明をしてくれると思いますが、今申しましたとおり、お金ではないということを御理解いただきたいなと思います。どうぞよろしくをお願いします。

事務局 ありがとうございます。

本会議の議長につきましては、委員の皆様にも順番でお願いすることとなっておりますので、今回は窪内委員にお願いしたいと思います。

それでは、よろしくお願いいいたします。

委員（窪内委員） それでは、お手元にお配りしております次第に従いまして議事を進めさせていただきます。

次第の2、案件（1）令和4年度教育委員会の予算及び主要施策についてを議題とします。

担当課より御説明をお願いいたします。

教育総務課（繁岡課長） 失礼します。それでは、私からは、教育総務課に関する令和4年度予算及び主要な施策を御報告させていただきます。

令和4年度の予算要求につきましては、令和3年度同様、クロームブックを活用したGIGAスクールにおける運用費用やデジタル教科書の普及、ALTの派遣、働き方改革の推進のための支援スタッフ等々、町長おっしゃった子供たちの教育に関する予算を、森町長をはじめ企画財政課の方々には、限られた町の財源の中、子供たちのためにと調整をいただいたところであります。本日は、その予算要求のうち主な施策につきまして御報告させていただきたいと思います。

それでは、資料の1ページを御覧ください。

まず、教育の場にSDGsをとという内容になります。

初めに、コンポストの購入、予算要求額2万9,000円でございます。給食から出る生ごみや学校敷地内の落ち葉、各校で飼育しているウサギやヤギの糞などの有機物を発酵、分解させて堆肥を作る容器、コンポストの購入となります。コンポストでできた堆肥は学校の農園、花壇などで活用することで、ごみのリサイクルやごみ袋の節約となり、環境問題やエコ活動に関心を持つきっかけとすることでごみの減量や焼却時の二酸化炭素の排出量の削減などSDGsに対する理解と環境学習につなげるものがございます。

続きまして、SDGs啓発学習ツールの作成でございます。

3つの項目を合わせた予算要求額は、59万1,000円でございます。

まず1点目、SDGs17ゴールのシール作成で、予算要求額が25万7,000円でございます。

こちらにつきましては、令和3年度にも作成し、児童生徒に配布しておりますが、令和4年度も引き続き作成してまいりたいと考えております。

子供たちが日常の学習や生活の場面で持続可能な世界をつくるために自分たちが今できることをもっと身近に捉え、学校で学習している様々な内容をSDGsに関連づけてノートやプリントなどにシールを貼ることによりSDGsで目指す17の目標を達成するための意識を高めます。また、学習した内容を御家庭で会話してもらうことで家庭や地域の皆さんにも意識を高めてもらえる効果があると考えております。

次に、2点目、SDGs17ゴールの標語募集で、予算要求額は23万4,000円でございます。

先ほどのシールと同様、子供たちにSDGsを身近なこととして考えてもらえるよう、SDGs17の目標それぞれに対する標語を児童及び生徒を対象に募集するものです。参加賞としてSDGsバッジを作成し、応募者全員に贈呈したいと考えております。

なお、記載はありませんが、それぞれ入賞者には図書券の贈呈も併せて考えております。

次に、資料の2ページを御覧ください。

3点目、SDGsフェス開催に係る補助金として、予算要求額10万円でございます。

三郷中学校の文化祭、紅葉祭においてSDGsフェスを開催するための補助金を考えております。現在、紅葉祭としても補助金を支出しておりますが、別途助成をし、中学校生徒が主体となって小学生の参加も加味したフェスを企画・開催してもらうことで、生徒はもちろんのこと、当日参加いただいた地域の方々や保護者の方にも啓発してまいりたいと考えております。

以上がSDGs関連の施策となります。

続きまして、子供見守りビーコンの導入で、予算要求額が1,727万5,000円でございます。

現在、本町では子供たちを犯罪や事故から守るため地域の皆さんの御協力を得ながら登下校時の見守りやパトロールの実施、防犯カメラの設置などの取組を行っております。「人にもまちにもレジリエンスなスマートシティSANGO」の実現に向け、本町独自のネットワークである地域BWAを活用して、子供から高齢者まで誰一人取り残さない住みやすいまちづくりを目指す中、通学時の児童の見守りをさらに強化するため、発信機、受信機、監視アプリを用いて子供が町の主要道路や通学路における定点を通過した情報を保護者や御家族がリアルタイムに確認できるシステムを導入し、安心して子育てができる環境を整備するものであります。

なお、整備につきましては、本町の面積がコンパクトであることや町外への連絡道路、橋や駅が限定されるなどの地理条件、及び昼間人口等を勘案し、最も有効な手段と考えられるゲート方式、ビーコンとしました。写真を参考にさせていただくとイメージしていただけるかと思うのですが、児童はランドセルなどに小さい端末をつけてもらいます。もちろん、ランドセルの中に入れてもらっても大丈夫です。

次はまず、4ページをお願いします。

こちらの左上にあります電柱に設置する受信機の近くを児童が通ると、真ん中にある保護者の携帯で何時何分何秒に子供がどの地点を通ったか分かるようになります。一番右端にあります地図上でも通った地点が分かるようになります。これにより、お仕事中の保護者の方も安心できると考えております。

最後に、すみません、ページ1つ前に戻っていただいて、3ページになります。

最後に、町内で防犯カメラが設置されている箇所になります。

現在23か所設置しており、基本的には防犯カメラの位置に受信機を設置してまい

りたいと考えておりますが、設置場所につきましては、今後、皆様の御意見も頂戴しながら確定してまいりたいと考えております。

また、本システムにつきましては、子供だけではなく高齢者の方など様々な活用ができると考えておりますので、その点も踏まえて設置場所も検討できればと考えております。

教育総務課からは以上でございます。

続きまして、高塚課長に代わらせていただきます。

生涯学習課長（高塚課長） おはようございます。引き続きまして、生涯学習課に係ります主な事業を報告させていただきます。資料の5ページをよろしく願いいたします。

まず最初に、長寿命化計画策定委託業務でございます。予算要求額は1,100万でございます。

都市計画公園内にあります体育施設でありますスポーツセンター、ウオーターパーク、及び多目的広場は、多くの住民の皆様にご利用されている施設であり、安全性を継続的に確保していく必要がございます。特にスポーツセンターとウオーターパークにつきましては、供用開始後30年余りが経過しておりますので、今後老朽化により重大な事故や致命的な損傷等が発生するリスクが高まることが懸念されております。また、多目的広場につきましては、大雨時の遊水機能を備えた広場であり、駐車場内には災害時におけますマンホールを利用した防災トイレ機能も有しております。そのため、現在の施設の状況を的確に把握し、適切な時期に適切な施設の修繕や更新を行っていくことが最も重要な課題となっており、今回、国の社会資本整備総合交付金を活用し、計画を策定するものでございます。

補助金でございますが、補助基本額1,000万の2分の1で500万を見込んでおります。

なお、確定後、改修が必要と判断されたものにつきましては、国のほうから2分の1の補助金を受けることが可能となっております。

次に、図書館でございます。

電子図書館の運用ということで、要求額が116万でございます。

新型コロナウイルス感染症予防や障害によって読書が困難な方々の読書環境を整備することを主な目的として制定された読書バリアフリー法に基づきまして、どこから

でもインターネットを通じて住民が安心安全に利用できる電子図書貸出しのシステムを運用することで、誰にでも優しい図書館を目指してまいります。

最後に、F S S 3 5（さんごう）スポーツパーク整備事業でございます。資料につきましては、6ページと7ページでございます。

先ほど町長が申しましたとおり、本年4月に奈良学園大学より移管されます三郷キャンパス跡地にスポーツパークといたしましてテニスコート、スケボー、BMXパーク、バスケットコート、及びボルダリングの整備を予定しております。生涯学習課といたしましても、このスポーツパークを、子供をはじめ住民の皆様の居場所づくりとして、また生涯スポーツの振興の拠点の1つといたしまして、今後深く関わっていきたいと考えております。

生涯学習からは以上でございます。

委員（窪内委員） ありがとうございます。

ただいま説明のありました令和4年度教育委員会の予算及び主要施策につきまして、何か御意見、御質問等がございますでしょうか。

委員（鶴丸教育長職務代理者） 4ページでしたか、事務費、ちょっと分かりにくいんですが、立野の今井の交差点、五差路の、去年崖崩れが起きたあの交差点ですけど、あそこにはカメラはついているのですか。

教育総務課（繁岡課長） すみません、地図が大変小さくて見にくくて申し訳ございませんでした。

おっしゃっている立野の五差路、そちらにも防犯カメラの設置、今は設置されていまずので、はい、そちらのほうに今またビーコンのほうも設置してまいりたいなというふうに今考えているところです。

委員（鶴丸教育長職務代理者） あのカメラ、周りはおうついとるんですけども、主には子供の安全はさることながら、あのカメラに映っている範囲内で何か事故が起きた場合、車の事故を対象に警察に提供するという機会があるように聞いたんですけども、これ、全部つけているカメラでほとんどがそういう活用に今のところされているのかどうか、ちょっと知りたいんですけども。

町長（森 宏範） カメラにつきましては、もともと、今23機だったと思うのですが、ついております。通学路に関してのカメラは11機、そして防犯上のカメラを12機つけ

たわけでございます。そして、子供たちの見守り、そしてもう1つはやはり防犯対策にということでつけました。今、先生おっしゃっていただいている部分につきましては、どっちやったかちょっと僕も定かではないのですが、その23機全てが見守りと防犯に対して活用されているということで、交通事故のみならず警察からの要請で何か事件が起きた場合に資料提供をさせていただいているというところでございます。ですから、今も、はっきり言いまして見守りも防犯も合体したことで活用させていただいて、見るのは警察からの要請があって、警察の方だけしか見ることはできないということになってございます。

結構件数は多いです。月ね、大体2件ぐらいは情報提供してくれという。大体なんですけど。多いときはやっぱり月5件とかいうときもありますけれども。かなり活用させていただいていますし、警察からはこの辺の近隣の中では三郷町が一番たくさんカメラをつけていますし、特にそのカメラ自体が集約型、ここの役場に集約されていますので、1か所で見られるというこの利点もあって、かなり見せてくれという要望が来るのは確かです。それが犯罪の解決につながったということも、どれにつながったかというのは僕らには教えていただけませんが、警察のほうからはつながったこともありますということを、ちゃんと、その報告だけはいただいております。

そのおかげかもしれませんけれども、犯罪の件数がやっぱり減ってきています。要は抑止なんですね。カメラがあることによって犯罪を起こさないという、こっちが僕らの狙いやったわけで、カメラがついていますよというのがどんどんどんどん広まるほうが犯罪が減ってくるのではないかな。現に、数字を見ましたら、すごい、ちょっと今ここで数字を持ち合わせているわけじゃないんですが、見たらすごい件数で減っております。

委員（鶴丸教育長職務代理者） はい、分かりました。

委員（窪内委員） ほかにございますか。

すみません、じゃ、私から確認したいことがあるのですが、電子図書館ですが、この目的がコロナ禍の関係と障がいによって困難な方々ということになっているんですが、どういう手続で使えるようになるのかということと、それと、そういうのでいうと、障がいをお持ちでない人でもコロナでかかって外へ出られへんとかというときに言ってもらったら使えるようになって、治ったら返してください、IDをみたいなことにな

るのかどうか、ちょっとそこら辺を教えてくださいなと思います。

生涯学習課長（高塚課長） まず、電子図書につきましては、申請が必要となってまいります。申請をしていただきましたら、パスワードとIDを交付させていただきます。その方がパソコンを通じて図書を借りるということになっております。ですので、1回交付措置しましたら、住民である限りはその方はその番号で借りる形でして、パスワードと、IDの番号限定ということになります。

委員（窪内委員） 分かりました。

そうしますと、返却ということは運用としては考えていないんですね、今。IDとパスワード。もう元気になりましたので、返しますとかという、そういうことはないですね。

生涯学習課長（高塚課長） そうですね。1回お渡ししましたら、大体転出されたときには一応、使えませんよということは伝えております。

委員（窪内委員） 分かりました。

委員（下方委員） また違う件でもよろしいですか。

委員（下方委員） こちらの室内練習場ですが、外の練習場はなくて、室内の練習場のみですよね。

そのスポーツパークでできるのがスケボー、BMX、バスケット、テニスとありますが、例えば室内でできるものでバレーボールであったり、バドミントンであったりとかもあるのですが、それもできるのかどうか。なぜバスケットだけなのかとか。

あと、夜の練習場というのが。三郷には外でもナイターでできる場所、ないですし、そういったところで何時まで。夜もちょっと活動できる場所があってもいいのになと思ったりもするところですし、やっぱりここまで来るのに交通の便というのか駐車場の確保が十分行われているのかとか。やっぱりここを盛り上げていくには交通の便が必要だと思いますので、その辺はどうなのかなと気になります。

町長（森 宏範） よろしいですか。

まず、スポーツパーク、先ほども申しましたように、テニスコート、そしてバスケットボールのコート、それとスケボー、BMX、この辺につきましては住民さんからの要望があったということで、それを反映させたということもあります。

また、バスケットボールのコートは企業版ふるさと納税ということでロート製薬の

お金を頂いて、全てそちらでやらせていただくことができました。1,100万ほど頂くのですが、コートも、初めスリーオンスリーを2つつくって、1つのコートにしようということになって、1つのコートができた。ですから、要望があったことと財源を確保できたことでそのバスケットボールのコートができるということですね。

スケボーとBMXは、要望がありながら、道路で子供たちがスケボーをしていたりするので危ないです。ですから、どこかにつくってくださいという要望があったからそこをつくることにしました。ただし、そしたら財源はということで、大体1面つくるのに3,000万ぐらいかかるんですよ。その財源を確保するために地方創生の財源を取りに行きました。

ここに室内練習場ってあるのですが、これは奈良学園大学のほうに頼み込みまして、初めはこの室内練習場をもう撤去すると言われていたんですが、委員おっしゃったように、夜間の練習場が欲しいという要望がやはりたくさんありました。そこで、奈良学園大学に頼みまして、これを撤去しないでくださいということで置いていただいたという経緯があります。

体育館ですが、体育館は、ここはその西側に大きな避難所がございません。避難所にもしますし、奈良学園大学の野球部やマーチングバンドが使われないときは、この体育館は住民さんに開放しようというふうに思っております。

そういう形で、交渉と要望と財源と掛け合わせてやったのがこのスポーツパークだと思っただけなら結構です。決してこっちが作りたいたってつくっているわけじゃなくて、やっぱり要望があるんですね。本当にね、夜間の練習をしたい、けれどもなかなか練習をするところがない。何とかしてよという子供からの要望がたくさんあってやったというのも確かです。これは教育長も一緒になって要望を受けましたよね。ですから、そういうことを反映させたいなと思ってやってきました。

最終的に、駐車場のことですが、10号館を見ていただいたら、一番右の端、入口を入ってすぐ左のところ、これ、10号館というですけれども、この10号館の前を駐車場とすることにしています。ですから、駐車場も完備していると。今時点でははっきりした交通の手段というのはなかなか言えないですが、いずれ三郷駅から奈良学園大学まで走っている路線バス、これは、一旦令和4年度は休止をします。工事中で乗られる方がないので休止をしますが、令和5年度の春に再開をしたいなと思っています。その

事業主体がどこになるのか、それはちょっとまだ定かでないし、どっちみち路線バスのことになりますので、三郷町が奈良交通に頼み込む形になると思います。そこがちょっとこれから組み立てていくことになると思います。

委員（下方委員） ありがとうございます。

ここも温泉、出ないですかね。ここに温泉もあつたら。

町長（森 宏範） 1つね、1号館ですが、今考えていただいているのはそこが高齢者のマンションといいますか、高齢者の住宅になります。そこに信貴の湯から温泉を買うような考え方をいただいているのは確かですね。ただし、高齢者の住宅なので、そこを活用される方が温泉に入っていただくかもしれません。でも、掘るとなると、やはり1億からかかりますので、なかなかそれ、そしたらその財源どこですかってなってくるので、買ったほうが安いという判断を今されているかもしれません。

若干そんな話は出ているのは確かです。

委員（下方委員） ありがとうございます。

ちなみに外で練習するような、外でスポーツの練習をするような場所というのは三郷町ではまだつくろうとは。ナイターをするような運動場ですね。室内では今後練習場が、夜、確保できるようになってきましたけれども、やっぱりスポーツとか文化の振興って大変大事なことだと思うのですが、冬場なんて5時ぐらいになるともう真っ暗ですから、中学校の野球部も早めに授業が終わってから終わらないといけない。ちょっと夜間に1時間でも2時間でもちょっと電気をつけて練習する場所があれば、もっとみんなの練習時間が確保できるのにな、と思っはいるんですけども。

室内ではできるようになるんですけども、やはり外のスポーツというのはなかなか三郷町では難しいでしょうかね。

町長（森 宏範） おっしゃっているのは多分野球のナイター設備やと思います。以前からその話はございました。

ただ、やはり地域の住民さんとの問題解決がなせなかったというのはそうです。特に健民グラウンドをナイター設備でとおっしゃっていただいた団体もたくさんありました。この中にもそれに関わった者もありましたけれども、やはり住民さんの合意がなければなかなかできない。そして、あんまりへんぴなところにつくっても活用がないということであれば、致し方ないのかな。ただ、このF S S 3 5（さんごう）キャンパスの

中で、グラウンドではないですけども、例えばですよ、限定して近所の住民さんに御迷惑がかからない8時頃までとかやったらナイター設備をつくることは可能です。どこかといいますと、先ほどの10号館の横ですね。横というか、駐車場を横にやりますけど、その南側が少しスペースが空いておりますので、ここぐらいやったら、時間限定ですけども、できるのかなとも思います。

委員（下方委員） ほかの、平群町もあるんですかね。王寺町もあるのかな。というふうに、近隣を見てみるとあるのだと思うんですけども、三郷町には、そうやって住民の方がすぐ周りに住んでいらっしゃるといふ地域的なこともありますので、なかなか難しいのかなと思うんですが、この大学の跡地などでしたら、もしかするとそういう場所が取れるのかなと少し思いましたので、ちょっと伺ってみました。

町長（森 宏範） おかげさまで、もう満杯になっちゃいましてね。

委員（下方委員） ああ、そうですか。

町長（森 宏範） はい。なかなかね、よく比較されるのは、王寺にあって、平群にあってと言われるんですが、王寺にないものが三郷にある場合もあるんですね。全てがうちにそろってなければならないという、ちょっとそういうのは、この頃考え方が、じゃ、王寺と三郷と平群とが一緒になって使い合いをしたらいいのではないかな。稼働率が100%とか80%ぐらいまで行っていたらいいんですけども、大概どこのところでも行かないんですよ。ですから、そういう、広域的に見て、そういう近隣同士で貸し合いをしていったらどうかという、それは県からの指導を受けているところであって、何もこのスポーツパークができて私どもは三郷町の住民さんだけというふうには思っていないですから、今度逆にそういうナイター設備のグラウンドがある平群町さんや王寺町さんに貸してくださいということも言えると思っています。

そうでなかったら、一つ一つのまちに全てのものをつくっていったら、歳入もちませんわ。ですから、これは広域的な近隣での助け合いが必要なのではないかなとも思いますね。そういう方向に、もうこれから行かざるを得んのかなと思うんですよ。

委員（下方委員） そうだと思います。もっと広い範囲で考えていったほうが、もっと暮らしやすくなるのかなと思うんですよ。

町長（森 宏範） うん、そうですね。

委員（下方委員） なので、私もそうなんですけれども、三郷町に住みたいと思った理由

もあって、ただ、やっぱり住んでみると、まだ足りないなって。こうなってほしいと思う部分があって、じゃ、どうして進めていったかというところ、王寺町にこういうところがあるからそこを利用した、平群にあるから利用したということになって、だからこそ三郷から離れずに住めますし、住みやすいですしというように、もっと広域で考えていけばいいと思うんですね。なので、三郷町の住民もどうぞみたいな、例えばお金、王寺町は500円で使ってもらってるけど三郷町民はお金ちゃんと取りますじゃなくて、三郷町民であればみたいな、ところのサービスの部分ももっと、三郷町民も一緒に使えるように進めてもらったらなと思って、もっと広域で考えて住みやすいまちづくりができるといいのになとは本当に思います。

町長（森 宏範） うん、そうですね。頑張ってますので、よろしくお願いします。

委員（窪内委員） ありがとうございます。

ほかに何かございますでしょうか。

委員（鶴丸教育長職務代理者） あまり多額な予算要求で恐れ入るんですが、子供の安全な登下校の、ビーコンですかね。これ、もし予算が通れば、今年の4月、新学期からスタートですか。

教育総務課（繁岡課長） 今、今回、予算要求させていただいているのが令和4年度の予算要求になりました。まず電柱とかに受信機をつけていく工事が必要になってまいります。そちらをまずつけていただく準備を令和4年度の1年間でやっていきたいというふうに考えています。

もちろん利用していただく児童がいる保護者さんにも周知をしていかないといけないというのがありますし、実際には利用料の問題もありますので、そちらのほうも今後ちょっと検討していく必要があるので、スタートとしては令和4年の4月からではなくて、少し、令和4年中に構築していきたいと思っていますので、しばらくちょっとお時間をいただくかなというふうには思います。

委員（鶴丸教育長職務代理者） そしたら、今のところ、子供はピーピーピーと鳴る、あれを持って登下校ということですか。安全面では。

教育総務課（繁岡課長） 子供さんはちっちゃいタグを、例えばランドセルに入れておいてもらう。音は鳴らないんです。近くの電柱につけている受信機の近くを通ったら、保護者さんの携帯、ございますよね。携帯で子供さんが今この電柱の近くを通ったよという

お知らせが保護者さんの携帯にお知らせが来るということなので、それを。

町長（森 宏範） いや、さっきの説明ではなく、お聞きされているのは、防犯ブザーも一緒に持つのかという。

教育総務課（繁岡課長） すいません。勘違いして申し訳ないです。

ブザーは防犯のブザーになりますので、不審者とか出た場合に子供たちが音を鳴らしたりするためのものなので、そこは引き続き防犯のために持っていただきたいと思います。失礼しました。

委員（鶴丸教育長職務代理者） これ、完成するまでは防犯ブザーだけで安全を確保するということですか。今までどおり。

教育総務課（繁岡課長） 来年1年間、これが構築できるまでは今までどおり防犯ブザーを持っていただけるように。

委員（鶴丸教育長職務代理者） 暇、要りますわな。電球もつけんなんし。

町長（森 宏範） ただし、防犯カメラと同じところにほぼつける予定をしておりますので、大体つけられるなということ。ただ、新たに10個ぐらい。

教育総務課（繁岡課長） そうですね。一応、予算の金額の中身ですね。箇所数としては今現在防犯カメラ23か所ついているんですけども、学校の校門にもやっぱり防犯カメラ、今23か所には入っていませんし、考えていく中で23か所ではやっぱり、こういうところにもというふうなことにもなってくると思っていますので、一応30か所の予算を今、皆さんでちょっと調整いただいているということになっております。

委員（窪内委員） ありがとうございます。

何かほかにございますか。ないですか。

それでは、次第の3、その他についてであります。何かございませんか。

委員（鶴丸教育長職務代理者） 時間ないので、すんません。

全く別件なんですけれども、三郷町、いろんな方面にSDGsなどの推進ということでありがたいことなんです。ごく具体的な例として三郷町の中にもEV車が何台か既に走っていたり、現に役場のタクシーもEV車ですよ。

ところが、この町内には充電する場所も1か所もない。車に乗っている人からこの間も苦情があって、何やばやいてはるんです。よそのまち、入れに行かなあかん。もっと

も、何がしかがあつて、よく見てるうちに、その人も自分のところで充電できるようにはしてはるんですけれども、やっぱりこのマークのある三郷町ですから、いろんな縛りがあるにしても、やっぱり近い将来1か所や2か所ぐらいはやっぱりこれからの、もう既にガソリン車がもうなくなる時代ですから、ぜひもう必要やないかなというふうに思うんだけど、町長、これからの見通し、いかがなもんですか。

町長（森 宏範） そのお話はよく伺っておりまして、確かに急速充電場所ということで各地につくっていかなくともあかんところであつて、またその場所を探しているところでもあります。

ただ、今回令和4年度の予算にはそこには反映できておりません。まず三郷町のどこにつくったらいいのかということをお金をかけずに先にやってから令和5年度ぐらいの予算立てをしたいなと思っております。奈良学園大学の跡地、F S S 3 5（キャンパス、ここにはもう1個つくる予定はできております。

それと、やはり西側でつくったら東側にも絶対要するというので、私、思ってますのは、惣持寺の遊水池をつくるその上に1か所つくりたいなと今思っております。そうすると2か所。要は、役場につくってしまったら、役場へ来られない方もたくさんおられますし、幹線ではないので、なかなかこの場所の中で急速充電所というのはちょっと設置は難しいのかなと思っておりますけれども、そこらの地域的なこと、そしてつくれるかどうかというのを令和4年度で考えていきたいなと思っております。

できましたら、町内3か所ぐらいはつくりたいなと思っておりますが、果たしてどこがつくったらいいかというのがちょっと頭痛を起しているところは確かなんですよ。

また、もう1つの考え方は、逆に町がつくるのではなくて、例えばなんです、よくあるコンビニをお願いして、コンビニの駐車場の中につくってもらえませんかというような話であれば、まあまあ、皆さんもぴんとくるのは三郷駅前にはコンビニがありますよね。あそこの中で、駐車場広いですから、その一角につくっていただけませんかというのを働きかけるのも1つの手かなと。ですから、令和4年度でちょっと固めていきたいなと思っておりますので。

委員（鶴丸教育長職務代理者） かなり場所的に広いのが必要なことを聞いたんですが。

町長（森 宏範） いや、それほど広くなくても、車止まれるスペースの倍ぐらいの大きさ、

それは必要やと思うんですけど。やっぱり三郷町でそこまで幹線でどこに求めたらいいのかなと思ったら、なかなかないですよ。すぐにここやという決定ができないところも申し訳ないなと思っているんですが。

ただ、決してつくらないというわけではなくて、つくっていく方向にはあるの、確かです。

委員（鶴丸教育長職務代理） ありがとうございます。できるだけ早急をお願いします。

委員（窪内委員） 私からもちょっといいですか。

この間、奈良テレビ、見ました。奈良クラブの記者発表。

町長（森 宏範） ああ、ありがとうございます。（よろしいですか。ほか、ございませんか。）

委員（窪内委員） 奈良クラブの件に関しては、もうフルにオープンなんですよ。もう三郷町に来ますよというのは。

あれ、サッカーのプロリーグって、地元の人たちとの交流というか、スポーツ振興というのもしか憲章の中に入っていたと思うんですけど、それとF S S 3 5との関わりとかいうのは、何か関連は。今のところはまだないんですか。

町長（森 宏範） いや、そうでもないんです。これ、ちょっと確実なことに今なっているかどうか分からないんですが、サッカーでの専門学校をF S Sの中に入りたいという考えを持たれているみたいです。奈良クラブさんが直接その専門学校を運営されるかどうかは、それはちょっと定かではないんですが、10号館、サテライトオフィス並びにサテライトキャンパスと位置づけているわけなので、そこで専門学校をやっていただく、それも非常にいいことだと思っています。

ですから、サッカーの育成としては信貴山グラウンド、勉強だけはそのF S S 3 5の中の、うちのサテライトキャンパスの中の一角を使いたいということもおっしゃっています。

委員（窪内委員） ああ、なるほど。

ということは、先ほどちょっと話が出ていた路線バスのことものろんなことを考えないかんということになってくる。

町長（森 宏範） そう、そういうことですよ。

委員（窪内委員） 分かりました。

ほかに何かございますか。

いいですか。

(「なし」の声あり)

委員(窪内委員) では、以上をもちまして、令和3年度第3回総合教育会議を閉会いたします。

それでは、本日は長時間にわたりどうもありがとうございました。

— 了 —